

ゆるっと

みどり はじめました。

筆　富山 昌克

テーマ
クリスマスシーズンにピッタリ！冬の花鉢

クリスマスシーズンに向けて、冬のインドアガーデニングをはじめてみませんか。花鉢をいくつか窓辺に飾るだけで、室内はぱっと華やぎます。赤、ピンク、オレンジなど暖色系の花をグラデーションでつなげれば、冬の窓辺に小さな花園が生まれたようになります。暮らしの中に、花のある時間を楽しんでみてください。



クリスマスの象徴！　ポインセチア

赤い部分は花びらではなく、苞（ほう）と呼ばれる葉が色づいたもの。日当たりのよい暖かな室内を好み、10℃以下の低温と冷たい窓際には注意します。秋から夜間を暗くすると苞が美しく色づきます。



冬の代表花！　シクラメン

一軒家では涼しく明るい窓辺で、集合住宅の上階では室内より戸外のベランダで管理すると花が長持ちします。上部にでてくる葉を下の葉にひっかける「葉組み」をまめに行うと、鉢の上部中央に花が集まって美しく咲き続けます。



クリスマス時期に開花　シャコバサボテン

葉のように見える節に水分を蓄える多肉植物。明るい窓辺で、冬は10℃前後を目安に管理します。日照時間が短い条件の下で花芽をつくる性質があり、夜に照明が当たらない軒下やベランダで管理すると花芽を付けます。



華やかさが魅力！エラチオールベゴニア

ベゴニアの中でも花色が豊富で、八重咲きの華やかさが魅力。明るい室内で、レースカーテン越し程度の光が適します。過湿を嫌うため、水は土の表面が乾いてから。葉や花に水をかけず、株元へ与えるのがポイントです。

トミーのトリビア





植物を窓ガラスにぴったり寄せるのは禁物。冬の夜は窓辺が想像以上に冷え込むため、少し離して置くのがコツです。100円ショップの鉢皿や受け皿を利用して、鉢底から流れ出た水を溜めっぱなしにしないことが大切です。ポインセチアは暖かく明るい場所を好むので、部屋の中央に置きます。温度計を一つ置いておくと、「寒すぎないかな？」を数字で確認できます。